

黒潮は、接岸して房総沿岸を流れていました (図2)。  
水温は、平年並～やや高めでした (表1)。

【詳細】

水深0,50,100,200mの水温はいずれも平年並～やや高めでした (表1)。

水深10mの水温は21～26℃で、水深100m,200mのような顕著な潮目は見られませんでした (図3)。塩分は、河川水の影響を受けたため、犬吠埼から九十九里のごく沿岸が34.0PSU以下で (図4)、この水塊は海面から水深50m付近にまで及んでいました (図6)。一方、犬吠埼沖の陸棚斜面 (水深350～450m) には、親潮系の低温・低塩分水が分布していました (図6)。

黒潮は、接岸して房総沿岸を流れていました。流況は、黒潮の縁辺付近は北東へ向かう流れ (北東流) で、最大4.5ノットに達していました。また、外房の定置網漁場でも最大で1ノット程度の北東流が流れていました (図2)。

クロロフィル濃度は、水深10mでは鴨川沿岸が2.0μg/Lと高くなっていました。水深50mは、太東沿岸のc13以外は1μg/L未満でした (図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖では海面から底層まで例年並みでした。また、銚子沖は30m以浅では1～2℃高め、100m以深では1～3℃高めでした。 (図8)。

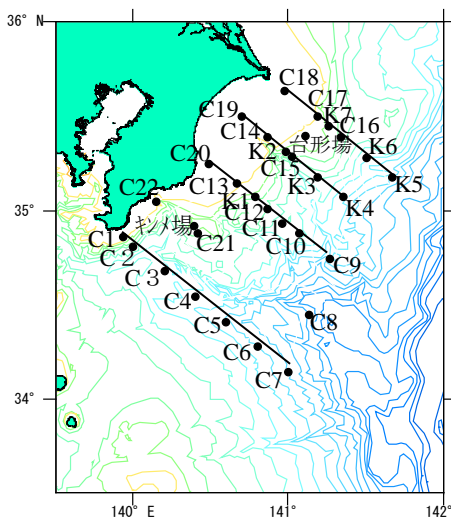


図1 調査点 (c1～c5は欠測)

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島崎南東線

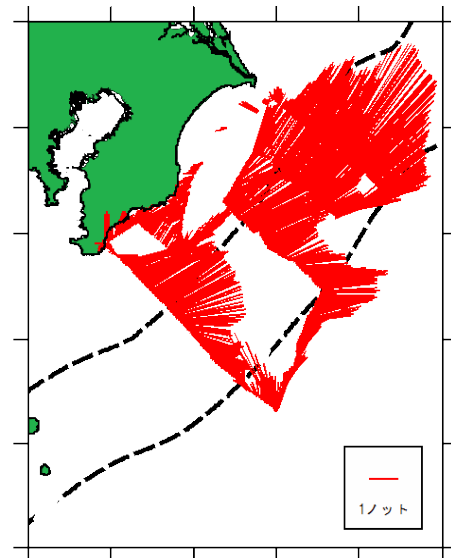


図2 黒潮流路 (破線) と流況

表1 海域別平均水温 (℃) と評価\*

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	23.1 やや高め	22.4 平年並	18.9 平年並	15.3 やや高め
外房	23.6 やや高め	20.7 平年並	18.0 平年並	14.5 平年並

※ 下記により評価しています。

- ・使用している観測点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点
- ・方法 下式で算出される値の高低で評価しています。

$$\frac{(x - x_{30})}{\sigma_{30}}$$

- x : 今年の平均水温
- x<sub>30</sub> : 直近30年の平均水温
- σ<sub>30</sub> : 直近30年の標準偏差

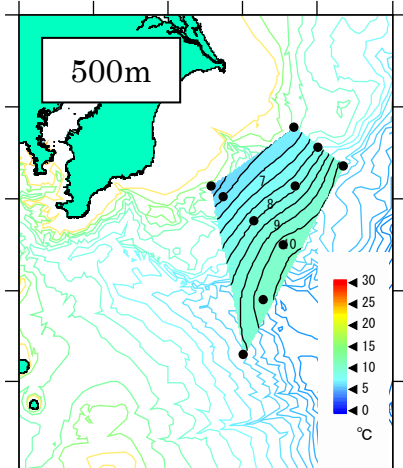
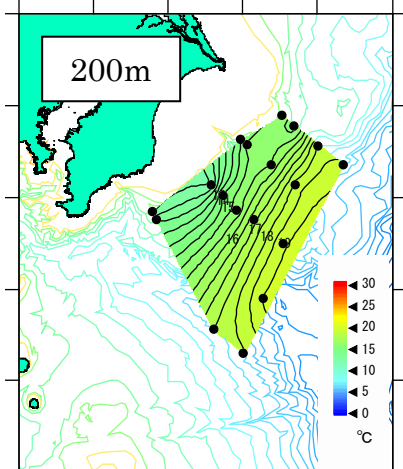
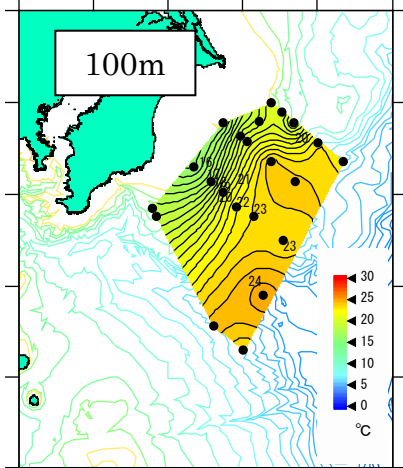
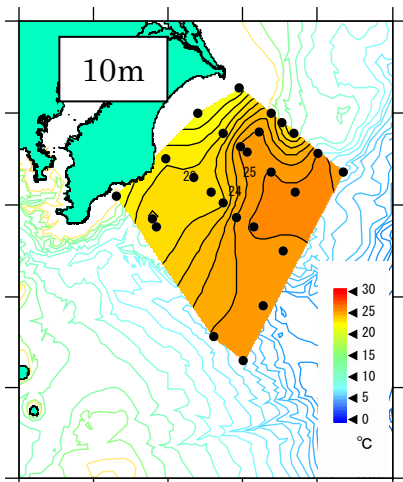


図3 水深別の水温分布

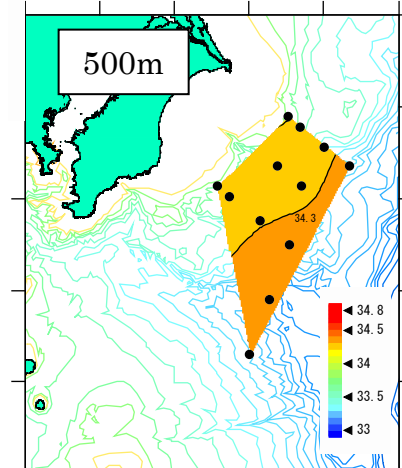
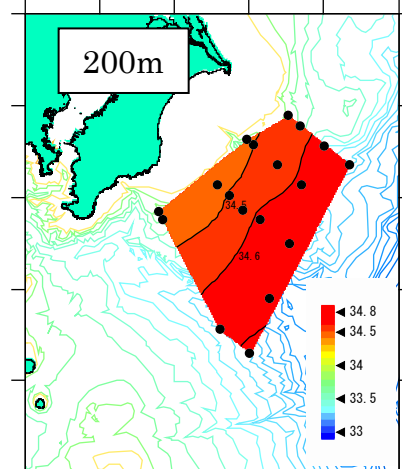
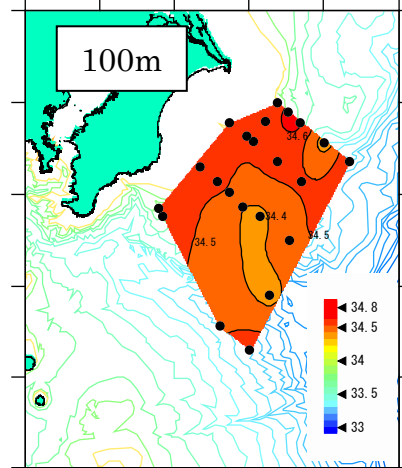
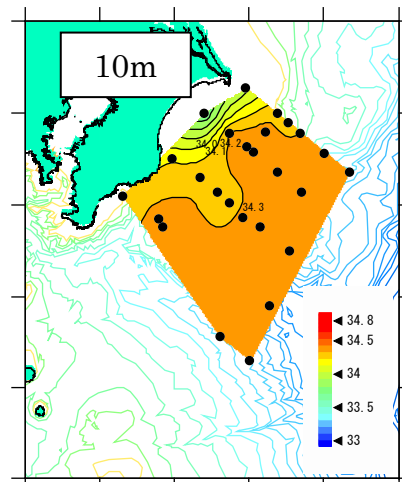


図4 水深別の塩分分布

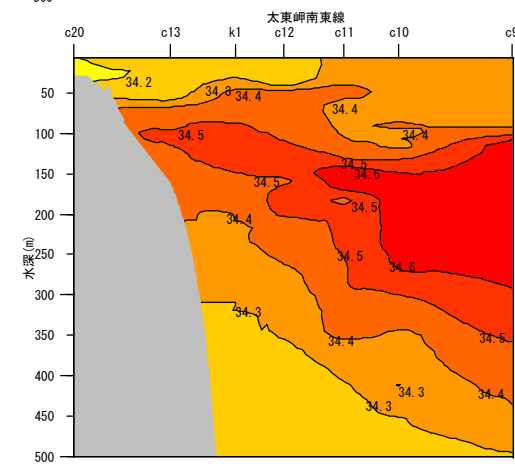
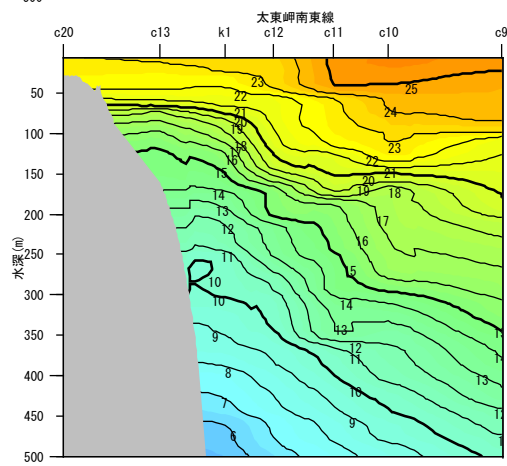
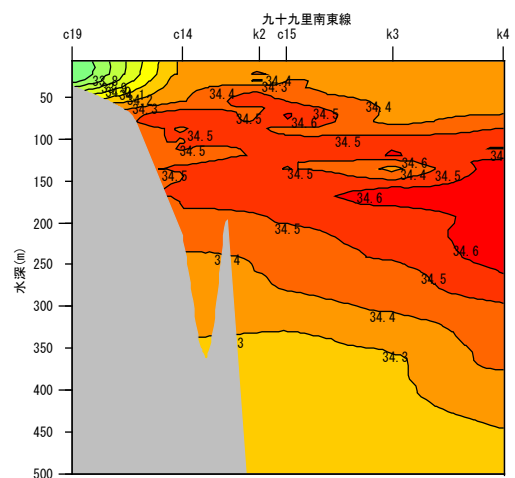
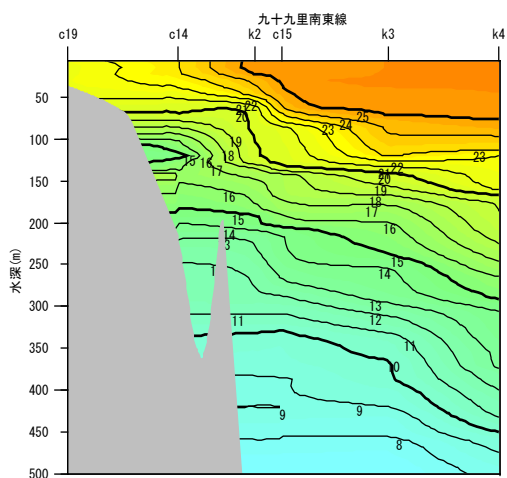
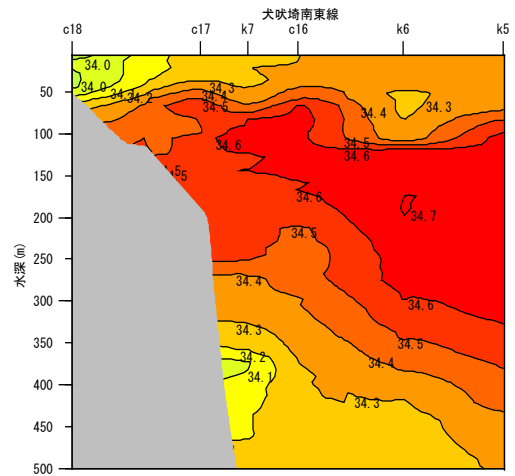
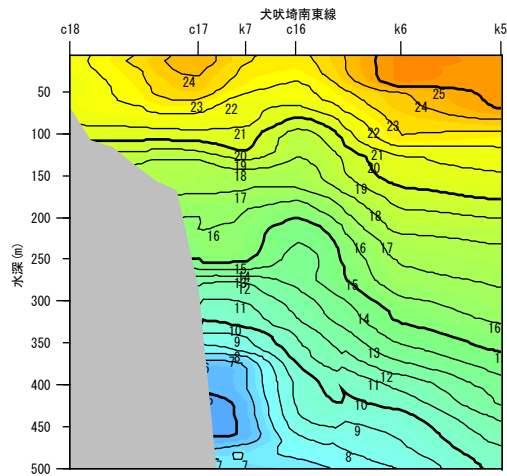
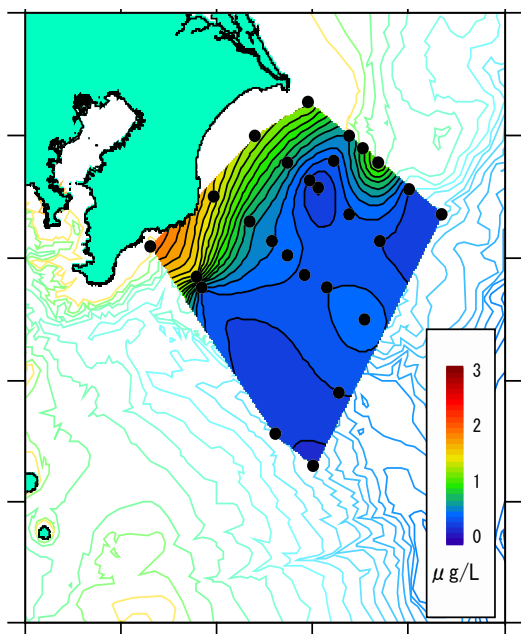


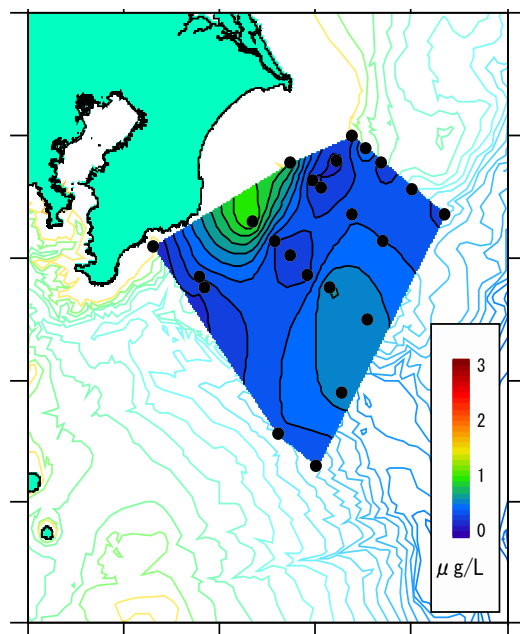
図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬南東線（図1参照）

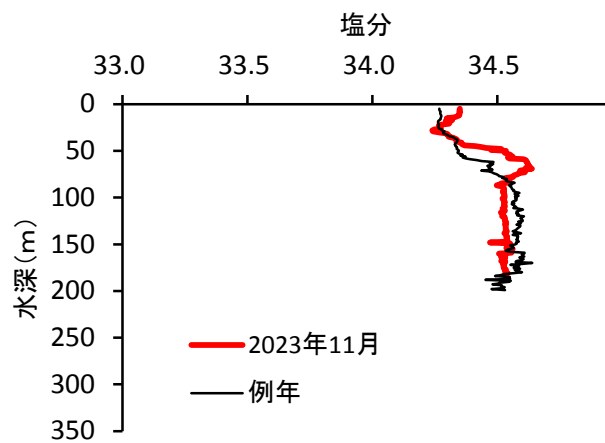
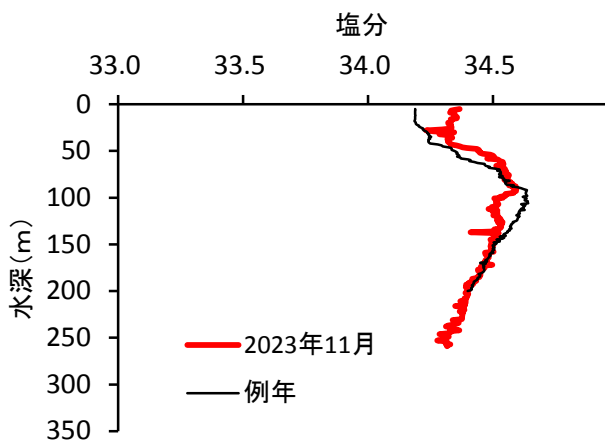
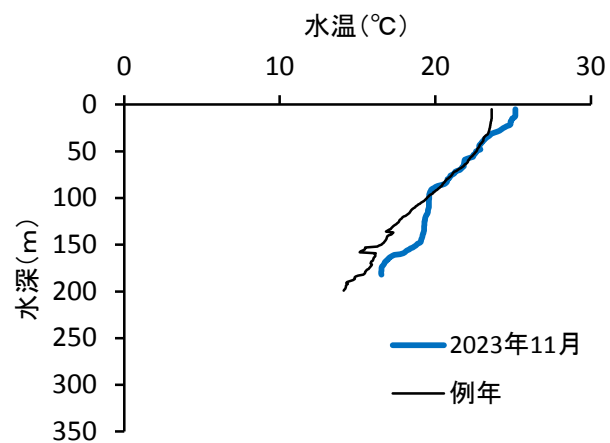
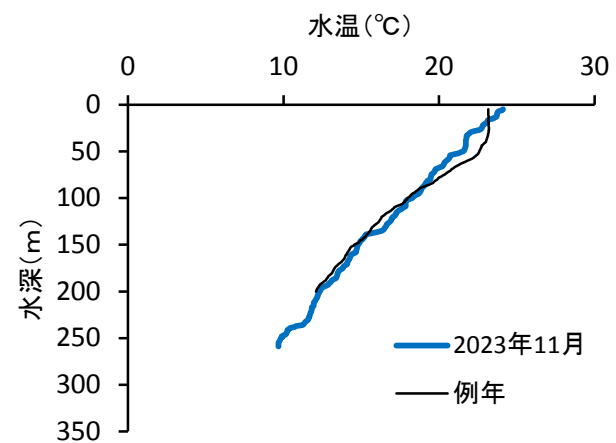


10m



50m

図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖

銚子沖

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)